

林英哲コンサートスペシャル2013

迷宮の鼓美術少年

PARALLAX TRACKS

or how an aspiring young drummer got caught up
in the mystical artwork of YOKOO Tadanori and survived to tell the tale



Photo: Sakae OGIKAWA

日時 2013年10月30日(水)ー11月3日(日)

(11月1日は英哲風雲の会単独公演)

会場 東京・世田谷パブリックシアター

東急田園都市線三軒茶屋駅(渋谷より2駅・5分)より地下通路にて直結/世田谷線三軒茶屋駅となり
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 TEL 03-5432-1526

出演 林英哲(演出・振付・演奏)

[英哲風雲の会] 上田秀一郎、はせみきた、田代誠、辻祐

料金 S席 7,000円/A席 5,000円
(全席指定) ※未就学児童入場不可

主催 林英哲公演実行委員会

提携 公益財団法人せたがや文化財団、世田谷パブリックシアター

後援 世田谷区、講談社

協賛 浅野太鼓文化研究所

協力 キングレコード、avex io、ユニバーサル ミュージック

企画制作 蓮[ハル]

運営・問い合わせ 東京音協 03-5774-3030

少年美術の鼓の迷宮

…歪視の航路…とは、志を胸に、
人生の岐路の前に立つ少年鼓手が、
大なる横尾忠則の美術迷宮に
巻き込まれ、いかに生き抜いたかの物語……

林英哲が挑む美術家シリーズの第六弾になる
今回のテーマは、横尾忠則。英哲の人生を変えるきっかけと
なった憧れの美術家・横尾忠則の作品と人生を軸に、
そこに英哲の太鼓人生が交錯する迷宮舞台。どうぞご期待下さい。

PARALLAX TRACKS

or how an aspiring young drummer got caught up
in the mystical artwork of YOKOO Tadanori and survived to tell the tale

※ 英語タイトル、サブタイトル=ビーター・バラカン、和訳=林英哲
※ 「歪視の航路」(わいしのこうろ)=異なる二つの地点から見た視差により、見かけ上歪んで見える軌道、の意の造語。Y氏の航路、Y字の人生行路、の意も含む。Y氏は、むろん横尾氏。
※ 現在、横尾忠則氏によるポスター制作中!

私は太鼓少年になる前は美術少年だった。その私にとって、美術迷宮の輝ける大天使は横尾忠則さんだった。若き日にあの朝日模様の光に照らされてしまった少年は、光をたどればいつかあの場所に自分も行くのではないかと思ひ、船出をしたのだが、思わぬ航路で漂流や難破を経験し、まったく別の海に泳ぎ着いてしまった。あれからもう40年以上太鼓を打ち続け、人生が一巡りして、この歳になってやっと横尾さんの大迷宮に通じる洞窟の向こうに光が見えたような気がして来て、おそろおそろその光をたどってみよう、というのが、今回の舞台のテーマだ。

1998年、万零(マン・レイ)に始まり、伊藤若冲、高島野十郎、浅川巧、藤田嗣治まで続いた美術家シリーズの第六弾、現代の芸術家をテーマにその作品映像とコラボレートする舞台は今が初の試み、どうぞご期待下さい。

林英哲



Photo: Mitsuru Tomiyaga

林英哲 Eitetsu Hayashi

太鼓奏者

広島県生まれ。11年間のグループ活動後、82年太鼓独奏者として活動を開始。84年初の和太鼓ソリストとしてカーネギー・ホールにデビュー、国際的に高い評価を得た。以後、ジャンルを超えた世界のアーティストやオーケストラと共演しながら、新しい太鼓の音楽を創造し続けている。00年にはドイツ・ワルトビューネでベルリン・フィルと共演、2万人を超える聴衆を圧倒させた。

98年からは新たなステージとして、林英哲自身が刺激を受けた芸術家の作品や生き方をテーマに、太鼓ドラマともいえるべき劇的舞作の創作を始め、コンサートツアーもスタート。「万零」(マン・レイ)、「若冲の翼」(伊藤若冲)、「光を誇る人」(高島野十郎)、「澤の蓮」(浅川巧)、「そしてレオナルド」(藤田嗣治)と全国各地で公演。このステージは、国内はもとより海外でも評判を得る。

07年ソノ活動25周年記念コンサートを岩村力氏指揮による全曲太鼓協奏曲で企画・構成

成初演、絶賛を博す。このライブ録音CD「GREAT ENCOUNTER 林英哲 with オーケストラ」を発売。10年12月サンクトリールで、ソノコンサート「月山」から11年振りに「月山II」を開催、そのライブDVD「月山II」2枚同時発売。

12年2月、演奏活動40周年記念4日間連続公演は満員大絶賛を博し、アンコール公演「七つの輪」は11月17日東京・サントリールで行い大好評を受け、地方(大阪、横浜、松任)でも開催した。また今年も世田谷パブリックシアター提携公演として10月30日から4日間の新作による連続公演が決定、今回の新たな舞作作品を持って、全国ツアー「林英哲コンサートツアー2013/14」が開催される。

著書「あしたの太鼓打ちへ」の第2弾「林英哲太鼓日月」講談社より12年11月発売。
97年芸術選奨文部大臣賞、01年日本芸術振興賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。
オフィシャルHD <http://eitetsu.net>

英哲風雲の会 Eitetsu Fu-un no Kai

日本各地で活躍する若手太鼓奏者の中から、林英哲の音楽に共鳴する実力者が揃う太鼓ユニット。林英哲コンサートのアンサンブルメンバーとして活動する他、独自の演奏活動も行い、いずれも次世代を担う俊英たちである。

07年は林英哲ソノ活動25周年記念公演でオーケストラとの競演も果たしている。また12年9月には国立劇場主催「日本の太

鼓」公演で、林英哲監修の元「光の群像」と題しメンバー創作曲中心でトリを務めるなど、「英哲風雲の会」単独で国内外の公演も行い、その圧倒的な迫力とライブパフォーマンスは大反響を呼んでいる。

*11/1には世田谷パブリックシアターの同じステージで単独公演のショーケース・ライブを開催決定!

公演スケジュール

10月30日(水)	31日(木)	11月1日(金)	2日(土)	3日(日)
19:00	19:00	英哲風雲の会 ショーケース・ライブ 19:00	17:00	14:00

プレイガイド 東京音協 03-5774-3030 <http://t-onkyo.co.jp>
チケットぴあ 0570-02-9999(PCODE:206-364)
ローソンチケット 0570-084-003(LCODE:33419)
イープラス <http://eplus.jp/>
世田谷パブリックシアター 03-5432-1515(10:00~19:00)
チケットセンター [http://setagaya-pt.jp/\(PC\)](http://setagaya-pt.jp/(PC)) [http://setagaya-pt.jp/m/\(携帯\)](http://setagaya-pt.jp/m/(携帯))

○11/1英哲風雲の会ショーケース・ライブに関する詳細、お申込・お問合せ03-5774-3030(東京音協)
○幼児サービスあり(定員制、要予約、料金2,000円)対象 生後6ヶ月以上9歳未満(障がいのあるお子様についてはご相談ください)
・お申込・お問合せ03-5432-1526(世田谷パブリックシアター)※ご利用希望日3日前の正午まで。
○車椅子スペースあり(定員制、要予約)・お申込03-5432-1515(劇場チケットセンター)のみ ※各公演日前日19時まで。

「舞台制作スタッフ」
舞台監督:塩谷幸彦
照明デザイン:海藤春樹(海藤オフィス) 音響デザイン:新居卓夫(mils)
チアシ・デザイン:ダンデザイン
照明:安藤元映(RISE) プロデュース:林英哲、大場健二(通「ハル」)